

交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。



まちなews のニュース



下川淵地区

おいしさ格別 手打ちうどん

下川淵公民館で一月二十五日
少年教室「手打ちうどん作り」
を実施。小学生など十人が参加
し、うどんの手打ちに挑戦
しました。
小麦粉に水を入れてこね、丸
めてねかせている間に野菜や肉
などの具を準備。十分にねかせ
た小麦粉の玉を、めん棒で二
三の厚さに延ばします。程よ
い厚さに切り、具と一緒に煮込
んで出来上がり。
最後に参加者全員で試食です。
自分で作ったうどんの味は格別
で、「おいしい」「もっと食べたい」
ととても好評。中には「帰った
らお母さんに作ってあげたい」
と話す児童もいました。

「伝統工芸の灯」守りたい



ピープル

技能功労者表彰を受けた
狩野 千代松さん(67)
総社町桜が丘

本年度の技能功労者に選ばれ
て、二月五日、前橋アルサで表
彰された(15 に関連記事)。
「ありがたいことと思ってい
ます。この表彰はさまざま業
種が対象ですから。その中で組
合の推薦を受けて表彰していた

だき、感謝でいっぱいです」
勢多郡赤城村の出身。地元
日展入選画家に師事し、日本画
とこけし絵付けを学ぶ。これが
この道半世紀の出発点となった。
「絵の勉強がしたくて入門し
ました。その後、昭和二十八年
に独立し、こけしの制作を始め
たんです」
昭和三十五年、本市へ工房を
移転。二年後に日本農村工芸作
家協会に入会してから、徐々に
商業用の大量生産から芸術性の
高い一品制作の創作こけしへと
作品の主流を変えていく。
「はじめのころは、いろいろ
と苦労しました。でも、それが

今の礎になったんです。昭和
五十四年、全日本こけしコンク
ールで、最高賞の内閣総理大臣
賞を受賞したことが、以後の作
品づくりに励みとなりました」
素材は市の木・ケヤキにこだ
わる。木目や木肌、色合いが一
つ一つ違い、愛着があるからだ。
「今回の受賞を励みにこれか
らも伝統工芸の灯を絶やさぬよ
う、努力を続けたい」と、創作
意欲を燃やしている。
訂正 前号で紹介した田中末沙
さんは田島末沙さんの誤りでし
た。また、文中「リレー」のメン
バーとして全国優勝を「全国
出場」に訂正し、お詫びします。

まえばしの今と昔

防火地域に 指定される

八展通り



昭和三十年代の八展通り
です(写真上、写真下は現
在)。昭和二年に八間道路に
沿って形成されたのが八展
通り商店街。同二十四年に
街路灯が設置され、木製柱
から鉄柱に。同三十五年に
は都市計画の防火地域に指
定され、三階建ての建物が
造られました。